

三次市集落支援員（吉舎地区） 徳永春喜



【移住者メッセージとは】

吉舎町まちづくりビジョンにおいて、本町の課題である人口減少対策として、空き家情報バンク登録の促進をはじめとした移住・定住対策を進めるため吉舎町に移住された方々の協力により、これから移住を考えている人に、「メッセージ」を届けることを目的として、吉舎町自治振興連合会ホームページ「吉舎（よきやどり）移住・定住サイト」に「いざNOWきさ」と題したページを制作し、情報発信に取り組んでいます。移住経験を通じた定住後の暮らしをイメージしていただく一助になると考えていますので参考にいただければ幸いです。

【移住に向けて大切なこと】

移住を考えている方にとって、まず大切なことは、「何処に、何の目的で暮らすか」ということは重要な問題です。移住には相当な決断や費用が必要になるからです。住む場所、住む家を納得して求め、仕事や自分のやりたいことを計画的に進められている方も多いのですが、移住後に家の不具合に気づいたり、リフォームに予想外の出費が必要になったりと、問題を抱えられるケースもあります。最近では、自然災害の少ない立地条件を求められる人が増え、市役所、不動産業者、集落支援員の役割として、水害や土砂災害に関する情報を『防災マップ』などにより、安心・安全な暮らしを重点に置いた説明をさせてもらっています。また、子どもの教育に関わる保育所や小中学校、高校の紹介や就農や起業など、相談できる場も必要です。本町では、移住後の諸問題へのアドバイスや相談対応ができるよう、移住者同士の交流や、移住者の先輩の家を訪ね、直接話を聞くなどの取組を進めています。

【移住支援に向けて】

吉舎町は、空き家見学をはじめ、Iターン者やUターン者が増えています。ここ10年で空き家バンク登録も堅調に伸びており、「きさI J Uネットワーク」による交流や相談活動など、移住支援に力を入れています。『きさI J Uネット通信』の発行などを通して、移住者の暮らしの情報交流に努めています。集落支援員として、定期的にご自宅を訪問させていただき、困り事や生活上の問題などについても相談活動を進めていますので、お気軽に連絡ください。吉舎町の空き家情報バンク登録物件は、現在7件登録（三次市ホームページ／「みよしSTYLE」に掲載）されています。昨年からの実績では、登録物件のうち5件が成約済みです。県内都市部からの移住希望者が多く、空き家見学も増加しています。また、古民家を気に入られて、セカンドハウスとして拠点づくりに取り組んでいる方もおられます。空き家見学を希望される方は、三次市に「空き家見学登録申請」をしていただいています。